

講座レポート 令和4年11月25日(金)実施

中学生の ハローワーク



貝ヶ森市民センター

●お問い合わせ(9:00~21:00)

TEL 022-279-6320

●休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

指定管理者:

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

この講座は貝ヶ森児童館と共催で、仙台市立第一中学校の1年生203人を対象に、生徒の勤労観や職業観を育み、将来について広く考えることを目的に実施しました。

生徒は、さまざまな職業の7業種の社会人講師の中から2業種を選択し、その仕事を選んだ理由や経緯、仕事の内容、苦勞ややりがい、仕事とはどういうものなのか、どんなことを大切にしているのかなどについて話を聴きました。

司法書士

松田 祐輔 先生



中学生へのメッセージ

世の中には、数え切れない数の種類のお仕事があります。全く出会わない、知らないままの職業もあると思います。その中で、なりたい職業を見つけられたら、それはすごく幸せなことだと思います。また、どんなことにも必ず壁がありますが、あきらめなければ乗り越えられます。私はとても頭が悪かったと思いますが、あきらめずに努力を続けて、難しい試験に合格することができました。

今、私がこのお仕事をすることができるのは、受験時代に支えてくださった友人や家族のおかげです。中学生の皆さんも、勉強と部活で大変だと思いますが、焦らずじっくり、お仕事について少しずつ考えてみていただけたらと思います。

講話の内容

- ・司法書士とは、どのような仕事をしている人なのか(身近な法律や相続、不動産等)
- ・難しい試験(壁)があっても、努力すれば乗り越えられること。

中学生の感想

- ・夢を叶えるのはすごく大変だけれど、諦めずにやればぜったい叶う!ということがよくわかりました。仕事をやっている人でよくよく見れば楽しくやっているかやっていないかわかる!と言われ、世の中の人には「仕事」をどう思っているのかな?と興味がわきました。法律のお話も知らない話ばかりでとてもためになりました。特に相続の話にはとても興味がわきました。
- ・司法書士は試験の合格率が約4~5%と難しく、あきらめずやること、やるべきときにしっかりやるのが大切だと教えていただきました。法律は身近な物で大人になるまでに必要な知識を身につけておきたいと思いました。松田先生が「仕事をしている人を観察してみて。」と言っていた

ので、実践していきたいです。

- 司法書士という仕事は、本当に名前すら知らないものだったので、今回仕事の説明を聞いて、本当に驚きました。法律に関する仕事について弁護士しか知らなかったのが、大変よい勉強になりました。とても良いお話を聞くことができ良かったです。将来のため、法律を学ぶのも良いかなと思いました。

建築設備

秋山 悦子 先生



中学生へのメッセージ

今しかできないこと、やりたいことをたくさん楽しんでください。勉強、部活、恋愛、読書、何でも。その中で、何か一つでも自分に自信が持てることを見つければ、それが今後の人生の大きな支えになると思います。

講話の内容

私達が暮らす街並み、学校、病院、商業施設、スーパー、温泉施設等々、これらは総合建築業で作っています。総合建築業の仕事内容は多岐にわたりますが、中でも今回は、私の専門分野である「建築設備」についてお話しします。皆さんも知っている、または行ったことのある場所にも、もっと身近な所にもある「建築設備」。将来自分の手がけた建物が地図に載るかもしれません。

中学生の感想

- 建設とはまた違う仕事で、資格もたくさんあり、どれもが私たちの生活に欠かせない大切な設備を作ってくれているため、カッコよいと思いました。いろいろな生活の仕方を設計してライフラインに貢献しているので感謝したいです。
- 志望校が仙台高専で建築にもつながりがあるなと思い講演を受けました。設計の流れや種類など、基本的な知識を学ぶことができ、とても良い講演でした。お客さんのイメージに合うように工夫をたくさんして完成させていくのがステキだなと思いました！！
- 実際にかけ声を体験することで、重要性を理解することができました。日常の中で、建築設備がたくさん使われていて、自分たちには欠かせないものだ実感しました。この仕事の場合、自分は頭の中で形を考えるのが苦手なので、設計図の作成にはあまり向いてないですが、つくるのは好きなので実際に設計する仕事をしたいと思いました。このように将来は自分の得意とする仕事をしたいと思いました。

プロバスケットボール コーチ

加藤 真 先生



中学生へのメッセージ

中学生のみなさんにとって、仕事とはどういったものか、知らないこと、わからないことがたくさんあるかと思います。将来の仕事と言っても、「何を選べば良いのだろう」、「どんな仕事があるのだろう」、

と悩んでいる人も多いでしょう。私が歩んできた半生をご紹介します、みなさんの視野を広げるきっかけになればと、思っております。よろしくお願いいたします！

講話の内容

プロバスケットボール選手やバスケットボールコーチなど、様々な職業についてきた自分の経験についてお話します。

中学生の感想

- ・夢は広がり、いつ、どんなことがきっかけで、なにがしたくなるかわからない。「グラインド」という小さな積み重ねが大切だという仙台 89ERS のスローガンが自分にも大切だと思いました。
- ・自分の夢を追いかけるには、努力をコツコツ重ねるしか道はないことを学んだ。Let's Grind.
- ・スポーツの試合は選手やチームだけでなく、チケット販売やスポンサー、会場の清掃員など多くの職種の人々が支えていると実感しました。講師の子どもの頃の夢の移り変わりを聞くと、人の夢は広がり変化していくと感じ、それは自分の好みや得意な物事が関わっていると思いました。また、講師が言う Grind というどんな困難にも粘り強く取り組み乗り越えるという信念を大切にしたいです。そしてその困難を乗り越えるためには、自分の課題を見つめ直し、解決していく必要があると改めて感じました。
- ・1つの試合をやるのに、たくさんの人が関わっていることが分かった。加藤さんの将来の夢の移り変わりから、「夢は広がる」という言葉に感動した。「グラインド」という言葉が良いと思った。ねばり強くやるのが大切なんだなと思いました。まだ将来の夢ははっきり決まってないけど、たくさんの夢をもっていいんだなと思った。

天文台職員

國友 有与志 先生



中学生へのメッセージ

宇宙空間では、止まっている物体に力を与えると、物体はそのまま進み続けます。

皆さんの今後の進路もこれと似ていて、大切なのは「最初の一歩」です。

そして、その一歩を踏み出す力を与えてくれるのは、「好き」そして「やりたい」という気持ちだと思います。

最初に自分の背中を押してくれたその力を忘れなければ、例えその先で困難なことがあっても、自分で進み続けることができるはずです。

講話の内容

天文台のスタッフは、目に見えるところ、見えないところで、どんな仕事をしているのか、仙台市天文台の役割・使命は何なのか、などをお話します。

中学生の感想

- ・「間違えたことは言わない」ということが大切だと知りました。分からないものをあいまいにせず、他の人との助け合いで仕事が成り立つのはとてもすてきなことだと思いました。自分たちで映像をつくったり、いろいろな年、知識に合わせて企画をつくと聞いて、私たちに宇宙の楽しさを教えようとしてくれることに嬉しくなりました。「自分の好きなことをする」ということを大切にしたいです。何かに失敗しても、めげずにさまざまなことを経験していこうと思います。
- ・その仕事につくには、そのことが好きという気持ちが大切で、天文台職員になるのも、宇宙につい

たくさん学んで、色々なことに挑戦したからなることができたとおっしゃっていて、自分も好きなことや興味を持っていることにどんどん挑戦していきたいと思いました。今のうちから、自分の好きなことに関係する教科を特にならばなど、今からでも将来の夢に向かって準備できることも学びました。

- 同じ場所でも複数の仕事がある。また、質問されたときは、間違っただけとは言わないことが必要である。天文台には、子どもから大人など、たくさんの人々が来るため、誰でも楽しめることを考えることが大切だと知った。そして、自分がやりたい仕事をするためには、「〇〇が好き」、「〇〇がやりたい」という気持ちから考えることが良いということを知った。自分が将来について考えるときは、自分の気持ちを大切にしたい。

銀行員

丹羽 綾乃 先生・高橋 克弘 先生



中学生へのメッセージ

私が中学生だったのはもうずいぶん前のことですが、今思い返すと、人間関係や進路など、これまでなかった悩みがどんどん出てきた時期だったように感じます。年齢を重ねて感じることは、その悩みは、色々な経験を積むことで解決できることがあります。月並みですが、取り返せない失敗はほとんどありませんので、失敗を恐れず様々な経験を積んでもらいたいです。（社会人になるとチャレンジしたくても時間がありませんので是非今のうちに！）《丹羽先生》

- 好きな事を一生懸命楽しんでください。
- 勉強する習慣を身に付けてください。（学ぶこと、調べること）
- 自分を好きになってください。
- 自分を褒めてあげてください。《高橋先生》

講話の内容

「お金」についての授業です。今回は「投資」の仕組みを、ゲームを通して楽しく学びます。

中学生の感想

- 今まで株価や投資の意味を知らなかったけど、今日の授業で分かりました。株価や株数によって金額が大きく変化することが分かりました。銀行は私達の生活に大きく関わっていることが分かりました。銀行は人という心臓のような大切なもので、いつもお世話になっているので感謝しようと思いました。
- 株とか投資とかよく分からなかったけれど、ゲームを通して、おおまかにこんな感じかなーってというのが分かりました。また、話したことがなかった人とも話して、色々な考えがあるんだなと思って、とても勉強になりました。ゲームで楽しく学べて良かったです。今まで考えたことがなかったけれど、今度から銀行に行くときは、今日のことを思い出したいと思います。
- 株の仕組みをゲームなどで楽しく学ぶことができた。また、銀行が社会のお金の流れを作っている

大切な組織だということがわかった。

- 株価は、世界の動き、投資金額、会社の実績で変わることを初めて知りました。会社を応援するときは、世の中に役に立つか、ちゃんと考えて投資していきたいと思いました。銀行は預金、貸出、為替をしている。預金すると利息が付く！！貸出すると少し貸出料金がかかる！為替では安全にお金を取引している。銀行員も人に「ありがとう！！」と言われるお仕事。

気象予報士 星野 誠 先生



中学生へのメッセージ

まだあまり自分の興味が定まっていない人は、ぜひこうした社会人の話を聞く機会などを通して、いろんな職業について知ってもらえればと思います。また、若い人のテレビ離れが進んでいると言われますが、ぜひ皆さんにはテレビ番組、特にニュースをしっかりと見てもらって、世の中の動きに敏感になってほしいですね。私も就職してニュースをつくる立場になって、世の中の仕組みや様々な仕事について知ることができたので。

講話の内容

放送局全体の仕事や、気象予報士としての普段の私の仕事、この仕事を目指すにいたった経緯などをお話したいと思います

中学生の感想

- 自分がなりたいと思った職業になるためには努力しかないと思いました。気象予報士は職名ではなく、資格の名前だということに驚きました。自分のなりたい職業は、早く決めておくと、そのなりたい職業のためになることをやれるから、1～2個決めておくといいことを知れてよかったです。気象は理科の中でも4つ。地学が大切。+プラス、物理があるともっといい！！
- 興味があるということや好きだという気持ちがあると、難しい試験なども突破して夢を叶えられるんだなと思ったので、そんな気持ちを大切にしたいなと思いました。気象予報士の予報には、たくさんの方が携わっていて成り立っているということを知って、そういう裏側の仕事をもかっこいいなと思いました。私は将来、参考書を作る会社に入りたいと思っていますが、星野さんのように、仕事が好きで楽しめるような人になりたいし、夢を叶えられるようにがんばりたいと思います。
- 気象予報士はすごく大変な仕事で、すごい難しい試験があり、その試験に合格した人の約10%の人がテレビなどに出て仕事をすらすらと、本当にすごいなと思いました。いつも何気なく見ていたニュースですが、色々な工夫がされていて、そのような工夫が、すごいニュースを生み出していたんだなと感じました。朝3時40分ぐらいに起きて、5時ぐらいに出社し、そこから、ニュースの原稿を書いたり、すごいと思いました。星野さんは、子供のころから天気に関心があり、夢を追いかけるのは大事なことだと思いました。
- 普段何気なく見ているテレビや天気予報がこんなに深いのかとびっくりしました。もともとテレビも好きでよく見ているので、天気予報だけでなくテレビ局の仕事なども教えてもらい、とてもおもしろかったです。ただ天気を伝えるだけでなく、視聴者のことを色々考えながらやっているのを知り、とても勉強になりました。この話を聞いて、天気やテレビに関わる仕事に興味を持ちました。

ビデオグラファー 岩村 和哉 先生



中学生へのメッセージ

皆さんが「何かをやりたい！挑戦したい！」と思ったときに、もしかしたら周りは反対するかもしれませんが。「失敗するかもよ？大変だよ？お金かかるよ？」とか。1回考えて、それでも「やりたい！」なら、僕は挑戦したほうが良いと思います。そこで自分がいかに頑張れるかがポイントです。僕は25歳で挑戦して、なんとか頑張って、結果的に今めっちゃ楽しいです。

人生は一度きりなので、後悔しない人生を歩みたいです!!

講話の内容

- 0から独学で映像制作を仕事にした話。現在の仕事紹介。
- 地域の動画を作るときに大切にしたいこと

中学生の感想

- 映像を撮っているときに感じていること、動画をつくるうえで大切にしていることについて聴いて、自分一人ですべて一から作るという仕事に興味を持ちました。誰かの困りごとを解決するのが仕事で、その仕事をするうえで、「地域の魅力に気づく」「センス・オブ・ワンダー」「コミュニケーション」の3つが大切だということ学びました。私も自分ができそうなことからチャレンジしていこうと思いました。
- 地域の魅力が伝わってきて、すごいなと思った。普段なにげなく見ている動画も、意識して見ると、魅力を伝えるための工夫がいっぱい詰まっているなと思った。
- 地域のために働く公務員になりたかったけど組織に属するのが合わず別の方法で地域を発信できるビデオグラファーになったという話を聞き、形が違って自分のやりたかったことをやることはできるんだなと思いました。僕は将来、小説家になりたいと思っているのですが、今回の講話を聞き編集者や評論家などの道もあるのだなと思いました。また、お客さんに自分の仕事を「もっと××して！」と言われたときに、動画をより良くするために、自分の限界を超えるのがやりがいという話が、文句を言われるのを－マイナスより＋プラスととらえている点で心に残りました。
- 仕事とは、誰かの困りごとを解決する。時にはチャレンジも必要。
- 人との関わりができる仕事だと感じました。地域の良いところを知る面白い仕事だと思いました。この八幡の良いことを自分も考えたいと思いました。
- 岩村さんのお話を聞いて「やってみたい」と感じました。岩村さんはとても楽しそうに話していて、私も自分が楽しく働ける職業に就きたいと考えるようになりました。やはり、良い動画を作るためには、コミュニケーションが大事だということがわかりました。